

令和2年度 第9回「湊地区 まちづくり会議」概要

日 時：令和2年8月3日（月） 19：30～20：30

場 所：湊公民館

参加団体等：小学校育友会、区長会、黒松と渚を守る会、社会福祉協議会、寿会、湊自主防災会、財産区管理会、北消防団湊分団、子ども会、桜見守り隊、湊体協、食生活改善推進協議会 など

発言【1】

- (1)建設中の加賀産業道路と自衛隊の宿舎などの総合的な計画について
- (2)小舞子海水浴場の施設管理について
- (3)PTAからの要望について（通学路等）
- (4)消雪工事について
- (5)AEDの屋外設置について

【市】

(1)令和2年8月に国・県・市の関係部署の担当者が集まり課題等の整理を行っており、国の整備計画、県の河川整備計画を元に順次関連する施設等について協議していくこととしております。

自衛隊美川官舎の跡地利用につきましては、今年度中に用地全体とA棟を防衛省から財務省へ所管換え後、市や県などに利用計画の有無を確認すると聞いております。周辺には県所有の施設（石川県水産センター生産部美川事業所）があることから、県の方針も聞きながら考えてまいります。

(2)修繕などの費用や内容等を見極め、その都度対応しております。シャワーの温水につきましては修繕済です。クーラーは施設の附帯設備ですが経年劣化によるもので、現在、管理人室に簡易移動式のものを設置することにしております。

また、防犯カメラにつきましては、現状を把握し、必要であれば設置の検討をいたします。

(3)通学路におけるグリーンベルト等の安全施設の設置につきましては、学校、PTA、町会等の意見を聞きながら、必要であると認められるものについて整備しております。

道路の白線や路面の整備につきましては、順次作業を行っているところであり、県道については県に要望してまいります。

(4)現在、地下水を利用した融雪装置は地下環境を考慮し設置を控えております。

(5)屋外設置用ケースは温度維持などコストがかかります。また、AED の設置にあたっては、人が多く集まる施設、市役所や公民館、学校などの公共施設、高齢者のための介護・福祉施設、会社や工場などの場所の考慮や球技、マラソンなど心停止のリスクがあるイベントなどの場面の考慮を想定する必要がありますので、安易な屋外設置は現在のところ考えておりません。

発言【2】

- (1)マップ「小舞子の黒松と渚を守る会」を作成した際の市からの支援について
- (2)地域の高校に地域課題の学習（白山手取川ジオパーク）を
- (3)クロマツの間伐後の処理について

【市】

(1)「小舞子の黒松と渚を守る会」がマップ作りの際に活用された市民提案型まちづくり支援事業補助制度は令和3年度で終了であり、現在、市内28地区での実施に向けて取り組みをすすめております地域コミュニティ組織の活動費となる（仮称）地域予算制度[一括交付金]に移行し、各地区において、地域課題の解決や地域資源の活用につながる取り組みについて活用いただくことを考えております。

(2)白山手取川ジオパークでは積極的に教育活動を行っており、日本ジオパークの中でも高い評価を得ております。エリア内の高校では、鶴来高校が毎年、手取川沿いを歩く体験学習会を主体的に実施していただき、推進協議会もジオパークの学びの部分でサポートしております。今後も県との連絡を密にし、活動が広がるように努めてまいります。

(3)松林保全等の海岸林再生事業にて、例年除伐の事業を行っており、マツの間伐と時期が合うようであれば、予算の範囲内での処理を検討いたします。

発言【3】

- (1)新型コロナウイルス感染症に対応した避難所利用計画について
- (2)自治防災会について、市の考え方は
- (3)二次避難施設として、旧アイテックス（現 USS）はどうか

【市】

(1)避難所運営マニュアル等につきましては、新型コロナウイルス感染症等に対応した見直しを行い、一度防災訓練を実施いたしました。訓練の中で参加者からさまざまなご指摘をいただき、新たな課題が見つかりましたので、再度見直しを行っております。見直しが終わりましたら、自主防災組織等に周知させていただきます。

(2)災害発生時、一定の間は、地域住民の一人ひとりが「自分たちの地域と自らの命は、自分たちで守る」ことが必要で、そのためには出火の防止、初期消火、災害情報の収集伝達、避難誘導、被災者の救出救護、給食給水の実施など地域単位での自主的防災活動が求められます。

組織の維持・運営につきましては、難しい点もあるかと思われませんが、まずは積極的に訓練を実施していただきたいと考えております。危機管理課では、職員が地域の訓練に出向きさまざまなアドバイスをさせていただいており、また、防災士の育成や防災に関する講演会を実施するなど、さまざまな機会を通じて防災に関する活動の重要性を周知・啓発してまいりたいと考えております。

市では、市内の各組織がお互いに知恵を出し合う機会を設けることも大切であると考えておりますので、連絡協議会の立ち上げも検討しております。

(3)二次避難施設として民間企業等を指定する場合は、まず、地域から依頼していただき、市が契約するという流れが適切と考えております。今後に備えて打診してはいかがでしょうか。

発言【4】

(1)まちづくり会議について（タウンミーティングの継続）

(2)湊地区におけるジオパークのPRについて

【市】

(1)地域の声、皆さんのいろいろなご意見をお聞きすることが大切だと思っております。今後も、対話と参加の市政を継続し、地域の声を市政に反映させてまいります。

(2)ジオパークを楽しむための要素には、大地の物語や自然などの生態系のほか、それらの上に成り立つ生活や歴史・文化・産業が重要であり、白山手取川ジオパークでは、これまでもこれらを総合的に捉え、魅力を発信してまいりました。

さらに、今年度、白山市ふるさと歴史研究協議会と白山手取川ジオパーク推進協議会との間でジオパーク推進に係る連携協定を締結いたしました。今後はこれまでに以上に、歴史・文化との関わりを意識した発信ができると考えております。

呉竹文庫につきましては、ジオパーク関連施設として、ガイド本等に掲載し、北前船文化を発信しており、今年度の日本遺産追加認定を契機にジオパークとして更なる活用を図ってまいります。

発言【5】

(1)防犯カメラの費用補助の周知について

(2)白山市民の交流事業（海の人⇔山の人）について

【市】

(1)令和2年度に引き続き、令和3年度においても広報等で補助制度の周知に努めてまいります。

(2)これまでに、湊公民館を含む美川地域3公民館の合同事業として、鳥越一向一揆まつりや白峰雪だるままつりに参加し、白山ろくの方々と交流を深めております。

今後は、市内28地区の地域コミュニティ組織の活動を行う中で、お互いが連携し、多様な方々が参画するイベントや事業を実施することで、地域間の交流の拡大に繋がることを期待しております。

発言【6】

河川監視用カメラの設置について

【市】

河川監視用カメラの設置につきましては、国・県と協議しなければなりません、相談したいと考えております。

防犯用カメラの設置につきましては、地域版もございますのでご検討ください。

発言【7】

消火栓のみで水が上がるのか（湊町7区 消火栓4つ）

現場から距離のある川などの水源から小型ポンプで取水した場合は届くのか

【市】

消火栓だけではなく、河川の水を引っ張るなどして、連携しなければなりません。いざという時のために、地域の方々と消防水利を考えていただきたいと思います。また、今後、ポンプ型で水を引っ張れるような装置も必要と思われます。

市といたしましては、消火栓を含め消防水利の状況について改めて検証したいと考えております。